

学校の森再生プロジェクト

1. 事業の目的

本市の小中学校には、樹木のばらつきはあるものの、校門や運動場、敷地外周など多くの樹木が配置され、豊かな緑を形成しており地域の緑を保全する上でも重要な役割を担っている。一方で以下のような問題を抱える学校も多く見受けられる。

- ①古い学校ほど樹木が多く、干渉、過密により樹木が健全な状態にない。
- ②樹木の成長により、隣地への越境や落枝などが発生。

本事業は、長い年月を経て守り育てられた緑を、地域の良好な緑として後世に引き継ぎ、緑豊かな熊本を目指すため学校樹木の適正化に取り組むもの。また、未来を担う子供たちに花や緑への関心を高める取り組み。

2. 前年度（R4年度）の取り組み

モデル事業として若葉小学校で実施

- ①樹木マップ作成：樹木医による成育判定後、マップ作成
- ②地域意見聴取：記念樹の有無、樹木による影響調査
- ③学校講座：事業内容を児童に授業形式で説明
- ④樹木の伐採・剪定
- ⑤効果の検証
- ⑥伐採樹木の活用：伐採樹木の再利用（堆肥化や学校内活用）

若葉小学校憩いの森 未来の姿の共有



未来の憩いの森（イメージ）



若葉小学校 樹木マップ



学校講座（ワークショップの様子）



3. 今後の取り組み

- R5. 5月24日
若葉小学校のサカキを田迎西小学校に移植
- R5. 5月30日
田迎西小学校で学校講座
- 92校の小学校と42校の中学校。うち創立して100年を超える小学校58校。歴史ある学校ほど樹木の状態も良くないことから、教育委員会と連携し上記学校を優先して選定、事業の拡充、効果検証を実施。